

おお…ッ!?!♡♡♡
いい…ぞお…ッ!

なかなか
上手いじゃ
ないかあ…♡

あの小娘は…ッ!
人材にも恵まれて
おるなあ♡
…くうッ♡♡

こんな…ッ
いい使用人を
飼っておるん
だからなあ

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

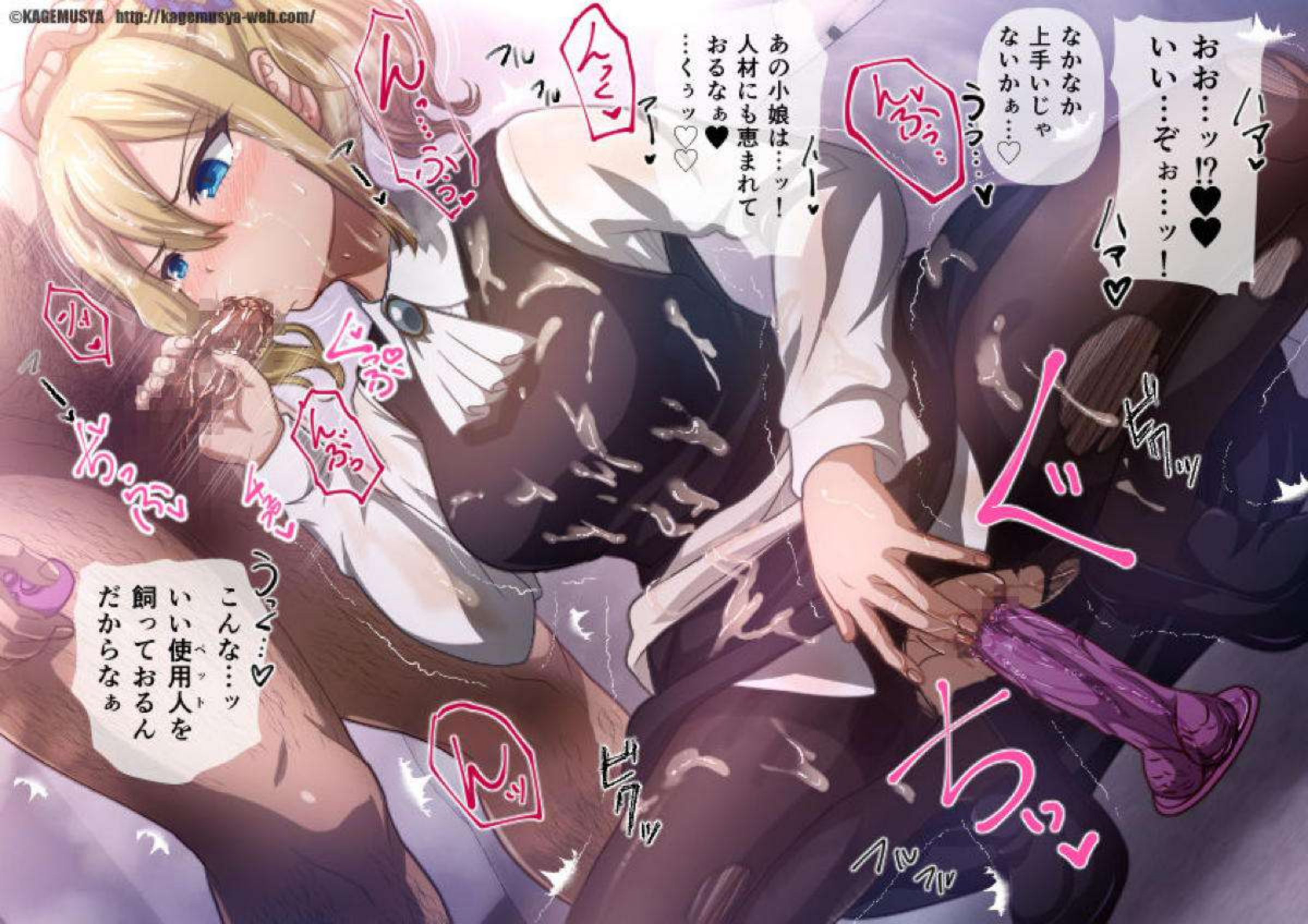
ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡



ほれほれ♡
続きはどうした？
もっと丁寧の手入れを
してもらわんと
終わらんぞ？

辛いんじゃないか？
若い男と甘い青春を
謳歌している主人と
比べて：使用人の
自分ときたら：

ブルブル♡
ガクガク♡
ガクガク♡
ガク♡

ん♡
うん♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡

ん♡

主人のためとはいえ
こんな中年の竿の手入れ
までさせられて：
たまったものでは
ないよなあ？
ぐふふ…♡

ん♡

今の姿を
お前の主人が
見たらどう思う
のかねえ？

ガの
自分の飼いだ
知らない所で
他の主人に
躰けられて…

だらしなく涎を
垂らして
精液をおねだりする
芸を仕込まれてるん
だからなあ？



ククク…
卒倒するんじゃないかあ？

カキカキ

はあはあ…♡どうだあ？
ワシ専用の使用穴…
いや使用人になる件は
考えてくれたかなあ？

四宮の小娘より
報酬は
弾むぞお？

♡
♡
♡

フ
ッ
ッ

ギ
ッ

…ッ！

お…
お断りします

♡
♡
♡
は♡
♡
♡
♡

じゅ♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡
♡

あの…ッ！
本当にこれで
例の件は…！

…それはお前の
態度次第だなあ？

それより
もう一度聞くが

フルフル

本当に四宮家の
使用人の穴を
使用させてもらっても
構わんのかねえ…？

ニヤニヤ



…ツ!

ア
ニ
マ
ニ
マ
ニ



ハハハッ！
そうかぁ♡

では遠慮なく
使用させて
もらおうか……

ど……
ど……ぞ……！

う……う……う……！



あッ

ねえ...ツ♡♡

ズ

あッ♡♡♡

ツ♡♡♡

ぐちゅ

う♡♡

—♡

んんん

ぐうう…ツ♡

締まる

しまるう…♡♡

はっははあ！
しっかり
啜え込みおって♡

んんん

ぎゅ

キゅ♡

ちゅ♡♡

んん

あうい

んん

だがさすがは
四宮家よ！
良い犬を
飼っておるわ！
んんん

んん

ううう…♡

主人の命令の
ためなら自分の
メス穴を差し出すのも
いとわないの
だからなあ？♡

まったく
お前の主人も
無茶な命令を
するのう？

やはりワシに
乗り換えんか？

ワシなら
可愛い使用人に
こんな接待を
させるような
ことはせんぞお？

ん？

うん！

ん！

いっ
ちゅ
バ
ド
キ

ギッ
ん

毎晩こうして
大事に…ううッ♡
たっぷりと
可愛がって
やるのになあ？

ん？

…ッ！
…ッ！
誰が…ッ！

それに…ンッ
これはかぐや様の
命令ではなく

私の独断で…ッ
んっ…！

そうだろうなあ？
あの処女臭い
小娘は何も
知らんのだろうさw

あ…ッ
んっ…♡

自分の飼いだ
がどうやって
お使いをこなして
きてるのか…ヒヒヒ
ハマ♡

あ…ッ

パ…ッ
パ…ッ

パ…ッ
パ…ッ

ギ…ッ
ギ…ッ

自分の知らない所で
メスの身体を使って
仕事してると知ったら
軽蔑されるかのお？

なんなら後日
あの小娘にこの
メス穴の感想を
伝えておいて
やろうかw？

…ツ?!
ダメツ!

ハッ

や…やめ…!!
やめてくださいい…!!
それだけはあ…!!



ならせめて
そうだなあ？

今夜だけでも
ワシの使用人として
哀願してもらおう
かのお？

ハァハァ

言ええ…！

「膣内なつかに出して下さい
ご主人様♡♡」
…となあ♡

えッ…
な…ッ

ドクッ

膣内なつかって…!?
そんなの…ダメえ!!!
イヤよ…そんな…ッ



いいのなあ？
例の件：ワシに
融通してもらいに
来たんだらう？

いやだと
言うなら…
♡
ヒヒヒ

ア
ギ
ッ…

ぐう…
ぐう…
ッ



→

→

シ...

→

.....
ッ!



腔内に…ッ
だ…出して
くだ…さい！

ムムムム

ご主人…様…



はあーっはっはあ！
そうかあ臆内なに
出して欲しいかあ？

じゃあワシが
人使いの荒い
お前の主人に
代わって

褒美の子種チツプを
やろうなあ♥

おんうう
当たうたう

遠慮せず
受け取れよお♥
ウウツ♥
出る出るうーッ♥

んう

ひきぎい

めう

ブルル

ハハ

ズズ

トト

ちちゅゅええ

キキ

ブルル

キキ